

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●桜花賞はジュエラーが優勝

4月10日(日)の桜花賞(G I)ではジュエラー(牝3歳/栗東・藤岡健一厩舎)が優勝、重賞初勝利をクラシックの舞台で飾りました。2着シンハライトとの着差は「ハナ」で、桜花賞のハナ差決着は1959年、1978年、1994年に続く史上4度目のことでした。

### ●3人のジョッキーが節目の勝利を飾る

4月9日(土)の1回福島1日・第5レースではユキノスライダーが1着となり、同馬に騎乗した植野貴也騎手(栗東・フリー)は、現役59人目となるJRA通算200勝(3016戦目)を達成しました。翌10日(日)の1回福島2日・第3レースではエパーキョウトが1着となり、同馬に騎乗した田中勝春騎手(美浦・フリー)は、史上12人目、現役では6人目となるJRA通算1700勝(1万8186戦目)を達成しました。同日の3回中山6日・第11レースとしておこなわれた春雷Sではエイシンスバルタンが1着となり、同馬に騎乗した藤岡佑介騎手(栗東・フリー)は、史上68人目、現役では26人目となるJRA通算600勝(7510戦目)を達成しました。

### ●荻野極騎手と藤田菜七子騎手がJRA初勝利をあげる

4月10日(日)の2回阪神6日・第3レースではタガノインペロが1着となり、同馬に騎乗した荻野極騎手(栗東・清水久詞厩舎)はJRA初勝利(29戦目)をあげました。同日の1回福島2日・第9レースではサニーデイズが1着となり、同馬に騎乗した藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)もJRA初勝利(51戦目)をあげました。

### ●加用正調教師がJRA通算500勝を達成

4月10日(日)の2回阪神6日・第8レースとしておこなわれた天王寺特別ではサウススターマンが1着となり、同馬を管理する加用正調教師(栗東)は、現役24人目となるJRA通算500勝(5474戦目)を達成しました。

### ●トーセンスターダム競走馬登録抹消

2014年チャレンジC(G III)などの勝ち馬トーセンスターダム(牝5歳/栗東・池江泰寿厩舎)は、4月9日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績14戦5勝・海外2戦0勝で、今後はオーストラリアへ移籍する予定です。

### ●ボールライトニングが故障

2015年京王杯2歳S(G II)勝ち馬ボールライトニング(牝3歳/栗東・宮本博厩舎)は、右第1指骨剥離骨折を発症していることが判明しました。今後3か月以上の休養を要する見込みです。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●マリーンC(船橋)はヴィータアレグリア、ブチコは競走除外

マリーンC(Jpn III、4月13日、船橋、1600m)は、2番手を進んだ1番人気のヴィータアレグリア(戸崎圭太騎手、牝5歳、父ネオユニヴァース)が、残り100mで逃げ粘るブルーチップ(大井)を抑えて重賞初制覇を果たしました。2番人気のフォーエバーモアは鼻出血を発症して5着、3番人気のディアマイダーリンは最下位の10着でした。なお、断然人気となっていたブチコは、スタート前にゲート内で突進して右上眼瞼挫創を負い、競走除外となっています。

### ●菊水賞は人気薄の牝馬シュエット【各地の主要3歳重賞】

兵庫三冠の第一関門、菊水賞(4月7日、園田、1700m)は、中団から伸びた10番人気のシュエット(牝、父ブラックタイド)がハナ差の接戦を制しました。岩手日報杯スプリングC(4月2日、水沢、1600m)は、3番人気のエンバイアベガス(牝、父エンバイアメーカー)が4番手前後から直線半ばで抜け出して6馬身差で楽勝。単勝1.3倍という圧倒的支持を集めた岩手2歳王者メジャーリーガーは5着に敗れています。あやめ賞(4月3日、水沢、1400m、牝馬)は、5番手から直線に入って間もなく先頭に立った3番人気のディックカントウ(父クロフネ)が、単勝1.8倍で断然人気のサプライズハッピーを4馬身引き離して楽勝を収めました。

## ★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

### ●第169回グランドナショナル〜人気薄ルールザワールドが優勝

世界最大の障害レースとして知られる英国グランドナショナル(7歳上、距離34.5<sup>2</sup>f=約6900m、障害延べ30)は4月9日、リバプール郊外のエイントリー競馬場で行われ、オッズ34倍のルールザワールド(騾9歳、父スラマニ)が先行策から最終障害後に1番人気タイのザラストサムライをかわし、これに6馬身差をつけて優勝しました。当地は初出走でしたが、G1・2着3回の実績があり、これで25戦6勝。ハンデは147<sup>2</sup>kg(約66.7<sup>2</sup>kg)。勝利騎手D.マリンス(19歳、このレース初騎乗)、調教師M.モリス(愛)。馬主のギギンズタウンハウス牧場(M.オレアリー氏)は、チェルトナムゴールドCをドンコサックで、愛グランドナショナルをローグエンジェルで勝ったのに続き、この1か月の英・愛3大障害レースを完全制覇しました。重馬場の勝ちタイムは9分29秒00。出走39頭、完走16頭。昨年の優勝馬で1番人気タイのメニークラウズは、トップハンデ164<sup>2</sup>kg(約74.4<sup>2</sup>kg)で16着。1着賞金は56万1300<sup>2</sup>kg(約8700万円)。